| 活動名 | スノーシュー体験　　（野外活動） |
|---|---|
| ねらい | ○　大自然の中、スノーシューに慣れ親しむことで、新雪を踏みしめる感触を確かめながら雪国の冬の自然を味わう。 |
| 条件 | **場所** ①敷地内<br>②植物園<br>③グラウンドゴルフ場・旭川ダム公園<br>（※旭川ダム公園コースについては、「登山・ハイキング」のページを参照のこと）<br><br>**時間** ①30分～60分<br>②60分～90分<br>③90分～120分<br>**当日の天候、現場の状況、団体の人数等に応じて時間は調整できます。**<br><br>**対象** 小学校中学年以上<br><br>**人数** 40～60名程度（※要相談）<br><br>**時期** 冬季<br><br>**天候** 積雪時 |
| 提出物 | **書類** 用具貸出票 |
| 準備物 | **貸出**<br>□スノーシュー　□ストック<br>□無線機（引率者用）<br>□拡声器<br>□ハンドホイッスル<br>□長靴（サイズは手引き参照）<br><br>**団体準備（個人準備）**<br>□冬用防寒具上下、スキーウエア等<br>□手袋　□帽子<br>□長靴（ブーツ不可）<br>□タオル　□着替え<br>□電池（拡声器1台につき単三6本、ハンドホイッスル1台につき単四2本） |
| 展開 | **事前**<br>①コースを決定し、下見を確実に行う。ルート、危険箇所、緊急車両待機場所、所要時間、疲労度等を確認し、団体の引率者間で情報を共有する。<br>②引率者間の役割分担と、参加者への事前指導を行う。<br>③参加者の健康観察に留意し、体調を把握する。<br>④当日の実施の可否はまんたらめ職員と相談の上決定する。（現地情報、天候等を考慮）<br>⑤まんたらめに到着後、貸出物品を受け取る。<br><br>**当日**<br>①準備運動をする。（※①②は順不同）<br>②トイレを済ませ、スキーウエア、手袋、帽子等の身支度を調える。<br>③長靴にスノーシューをセットし、ストックを持つ。（※③④は順不同）<br>④スノーシューの構造を伝え、使用方法を指導する。<br>⑤目的地を確認し、先頭から順に隊列を組んで進む。（広い雪原を自由に歩き回る。）<br>※事故等、緊急事態の場合は、速やかに対応し、まんたらめ職員と情報を共有する。<br><br>**事後**<br>①まんたらめ到着後、事務室に貸出用具を返却する。<br>②汗の始末を行い、風邪を引かないように着替えをする。 |
| 安全管理 | ・児童生徒の安全確保のために、活動を見届ける引率者の配置を計画する。<br>・怪我人や体調不良者が出た場合を想定して、緊急対応計画を立てる。<br>・引率者は、貸出用の無線機で連絡を取り合う。<br>・安全に関する事前指導を徹底する。（交通ルール　集団行動　野生動物への対応　等） |

# スノーシュー体験の様子

準備運動後、トイレを済ませ、身支度を調える

スノーシュー（大人用）置場（※玄関の風除室に50足）

スノーシュー（子供用）置場（※玄関に50足）

ストック置場（※玄関の風除室に60組）

長靴にスノーシューをセットする様子

スノーシューの構造の説明

スノーシュー装着後の様子

スノーシュー・ストックの使用方法の指導

隊列を組み、みんなでペースを合わせる様子

広い雪原で、新雪の感触を味わう様子